

学校教育目標「一人一人が輝く あたたかな学校」

泉の子

令和8年9月29日

泉小学校 学校便り 第6号

「自分の命を守る」そして「地域を守る人」へ

校長 尾上 清

いつまで夏が続くのかと思うほどの残暑が厳しい日が続く中、各地で大雨や台風の被害が続き、様々な対応が必要となっています。そんな中でも、子供たちは毎日、元気な声を学校中に響かせながら、元気いっぱい生活をしています。学校生活においては、各学級で前期のまとめをしています。この半年で自分たちが輝けたところ、もう一歩だったところ等をしっかりと振り返り、後期の活動につなげていってほしいと思います。後期は、林間学校、修学旅行、学習発表会などの行事が続きます。それらの活動の中で、自己をしっかりと見つめ、仲間とのかかわりの中で一步一步成長していくことを期待しています。

9月25日（金）には、予告をしない避難訓練を行いました。突然の訓練でしたが、子供たちは放送や教員の指示をよく聞き、その場に応じて一時避難をするなど、真剣に取り組む姿が見られました。これまでの避難訓練の積み重ねや、子供たちの成長を感じる場面も多くありました。

一方で、課題も見られました。避難後、集合して整列する場面では、友達との話し声が目立ちました。訓練だから静かにする、ということではありません、災害が起きたとき、必要な情報を確実に聞き、人数確認や周囲の状況把握をし助けを必要としている人に気付くためには、「話さずに黙って行動する」ことも、自分や誰かの命を守る大切な行動の一つです。99%の避難訓練ではいけないのです。

「もし、自分の話し声で大事な指示が聞こえなかったらどうでしょう。」

「もし、そのせいで誰かの命を落とすことになってしまったらどうでしょう。」

子供たちに、そんな問い掛けをしました。

災害時には、一つの聞き逃しや判断の遅れが、安全な避難を妨げることがあります。だからこそ、今回の避難訓練を通して子供たちには、「しゃべらない」という約束を守ることの先に、「自分の命や周りの人の命を守る」という意味があることを考えてほしいと伝えました。

避難訓練は、上手に避難できたかどうかを確認するためだけのものではありません。実際の災害が起きたときに、自分はどうか動くのか、周りの人のために何ができるかを考え、行動する力を育てる大切な学びです。



災害から自分の命を守った先には、避難所での生活や、地域の中での助け合いがあります。そこでは、小さな子供、お年寄り、体の不自由な方など、さまざまな人が助けを必要とすることがあります。そんなとき、「誰かが助けてくれる」のではなく、「自分にできることはないだろうか」と考え、行動できる人になってほしいと思っています。

過去の災害では、避難所で中学生や高校生が、物資を運んだり、避難してきた方々のために働いたり、自分たちにできることを考えて活動したりする姿が見られました。子供たちは、守られるだけの存在ではありません。子供たちもまた、地域を支える大切な一員です。その力は、災害が起きたときに突然身に付くものではありません。日頃の掃除、係の仕事、下級生への声掛け、地域の方へのあいさつ、困っている人への手助けなど、普段の生活の中で、「人の役に立つ」「誰かのために働く」経験を積み重ねることが、いざというときの力につながっていくと考えています。

先日の敬老の日には、多くの地域の方々が長寿をお祝いされました。泉・和合地区にはこれまで長い年月をかけて、この地域を大切にし、守り、支えてくださった方々がたくさんいらっしゃいます。これまで地域を支えてくださった方々から、今度は子供たちへ。

「自分の命を守る力」から、「人を支える力」へ。そして、「地域を支える力」へ。その力を少しずつ受け継いでいってほしいと願っています。そのためには、学校だけの取組では十分ではありません。先日、各家庭で実施していただいた「家族防災会議」の内容を、ぜひ折に触れて振り返っていただけたらと思います。

「地震が起きたら、家族はどうする？」

「家族と離れているときは、どこに避難する？」

「困っている人がいたら、自分には何ができる？」

そんな問い掛けをして、子供と一緒に考える場をもつことが大切だと思います。

また、日常生活の中でも、家族の一員として役割を担わせたり、地域の方とあいさつを交わしたり、誰かのために働く経験を大切にしたりしていただければと思います。学校と家庭が同じ思いをもち、地域の皆様と共に手を携えながら、子供たちを育てていく。そんな意識と取り組みの積み重ねが、互いに支え合い、自分たちの町を自分たちでよりよくしていこうとする「助け合いと自治の力のある泉・和合の町」につながっていくのだと思います。

子供たちには、災害に強い人になってほしいと思います。そして、それだけではなく、人を大切にし、人と支え合い、地域の一員として自分から地域のために動くことのできる人になってほしいと願っています。

「自分の命を守る。そして、周りの人の命や安心を守れる人になる。」

避難訓練という一つの学校行事を、そんな子供たちを育てる大切な学びの機会として、これからも大切にしていきたいと思っています。

保護者の皆様、そして地域の皆様、本校の学校教育目標「一人一人が輝く あたたかな学校」の実現に向けた取り組みに、今後どうぞ御理解と御協力のほど、よろしくお願い致します。